#1
世界を動かす
「未来開拓力」を育む

グローバル体験

P.13へ

#2
圧倒的な実績・
柔軟なサポートで
「個」を将来に導く

就職キャリア支援

P.19へ

#3
分野を越えて主体的に学び、
多彩な「個」の力を身につける

文理融合の学び
アクティブラーニング

P.25へ

#4
社会に貢献する
研究事業で世界に挑む

高水準の研究環境

P.31へ

#5
世界の情報が集積する
東京で刺激的に過ごす

都心型キャンパス

P.37へ

なぜ明治が選ばれるのか。
なぜ強い「個」が育つのか。

国内トップクラスの受験者数を誇り、卒業生は多方面で活躍。
学生たちは何を求めて、明治の門をたたくのか。
その魅力の一端が、ここに――。

THE WHY OF MEIJI

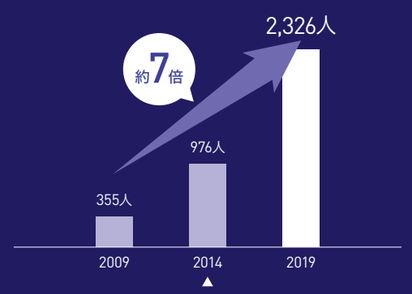
GLOBAL #1 世界を動かす「未来開拓力」を育む

［グローバル体験］

海外派遣学生数

海外派遣学生数が加速的に増加！

国内大学トップクラスに！



2014年度に文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援」事業に採択されて以降、「未来開拓力」を育むための施策を展開。

日本人学生の海外派遣学生数（2019年度）

A大学	2,914人
明治大学	2,120人（全国2位）
B大学	1,959人
C大学	1,867人
D大学	1,841人

出典　独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）2019（令和元）年度日本人学生留学状況調査結果

明治大学が目指すビジョン ▶ 2030年目標数値

明治大学は、国内外の様々な課題に対峙し、自ら時代を切り拓く「前へ」の精神を持ち、解決策への道筋を示すことができる人材を育成します。新たな時代、多様な価値観の中で、ともに学び共創する世界トップレベルの教育力を持つ大学を目指し、国内外から多様な学生を受け入れるとともに、世界に挑戦する学生を支援しています。

留学経験者比率

2015年入学者 15.8%

2030年 50%

外国人留学生比率（数）

2018年 4.8%（1,634人）

2030年 13%（4,000人）

外国語による科目比率

2018年 6.3%

2030年 30%

国際化 P.15　外国語教育 P.16　海外留学制度 P.17

世界を舞台に活躍するビジネスパーソンを目指して、米の名門大学に半年間留学。将来的な起業も視野に、卒業後は総合商社へ――。

カリフォルニア大学バークレー校対スタンフォード大学、アメリカンフットボール伝統の一戦を留学生の仲間と観戦

日本のみならず、世界中で活躍できるビジネスパーソンになるため、世界的な名門大学に留学しビジネスを学びたいと考えていた私。2021 年の秋に Berkeley Haas Global Access Program へ参加し、カリフォルニア大学バークレー校へ半年間留学しました。特に印象的だったのは、元起業家の教授の指導のもと、半年間かけて新規事業を立案して、実際に事業の実装までを行う授業です。私のチームは私とフランス人、中国人の 3 名。言語の壁や価値観・考え方の違いから何度も衝突しましたが、これまでの常識を取り払い、相手の立場に寄り添った行動を取り続けることで信頼関係を構築していきました。この経験を通じて、相手の価値観や背景を理解する力や様々な立場の人とかかわる際のコミュニケーション能力が身についたと考えています。また、毎週の授業の中で、様々な業界で成功されている有名な起業家の方が講演をしてくれたり、実際にシリコンバレーの起業家に自分たちのビジネスプランを評価してもらうなど、シリコンバレーに近く起業家精神の溢れる環境の中で、ここでしかできない経験ができたことも非常に有意義でした。

講義やパーティーを通して留学生同士の絆が強まったことも、思い出深い出来事のひとつです。大学は授業も課題もすべて英語のうえ、毎週数十ページの課題が出されるハードなプログラムでしたが、互いに励まし合いながら取り組みました。留学と就職活動を両立し、どちらも納得いく結果を出せたのも留学中に出会った周囲の仲間の存在が大きかったと思います。卒業後は総合商社に就職。留学で身につけた語学力と異文化を理解する力、そしてビジネスの知識を業務に発揮して、国を超えたプロジェクトなどを主導したいです。将来的には起業も視野に入れながら、グローバルに活躍できる人材を目指します。

商学部商学科グローバル・ビジネスコース4年　正田 稜さん（千葉県立八千代高等学校卒業）

就職先：総合商社

GLOBAL

国際化 すべての学生に、未来開拓力を。あふれるほどの国際体験を通じて

ともに学び、刺激し合う共創的・国際的な教育環境の整備

進化し続ける学内外の国際交流

リーダーシップ力や論理的思考力、異文化理解力など、未来を切り拓くために必要な力を備えた人材の育成を目指しています。学内、学外を問わず学生が積極的に異文化を体験するために、ハードとソフトの両方を充実させています。

多様な価値観が交差する「明治大学グローバル・ヴィレッジ」

留学生と日本人学生がともに生活し、学ぶ場として、2019年春、和泉キャンパスに全216室の国際混住寮をオープンしました。日本人学生と留学生がユニット式の居室で生活をともにしており、日常的な異文化交流を通じて、国際感覚の醸成ができます。

► P.8、P.38、P.139

東京都内で留学体験！

米国テンプル大学ジャパンキャンパス（東京都世田谷区）と単位互換協定を結んでいます。テンプル大学ジャパンキャンパスでの授業はすべて英語。明治からの派遣学生は国内にいながら留学に近い体験をすることができます。

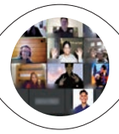
大学の国際化促進フォーラム「海外拠点×オンライン×実留学のグローバルシナジー・モデルの構築」プロジェクト幹事校

オンライン交流×海外渡航の国内外大学連携プログラム

オンラインを活用した国際教育交流の経験と、タイ・バンコクに置く海外拠点「明治大学アセアンセンター」や海外協定校を活用し、オンライン交流と実渡航を効果的に組み合わせたプログラムを展開しています。また、国内外の大学と連携して新たな国際教育交流モデルの構築を目指すプロジェクトの幹事校として参加大学を牽引し、ネットワークの連携・展開を推進しています。

海外拠点からの講義

オンライン交流



海外での集合型交流

▼

グローバルキャリア

オンライン交流	集合型交流	グローバルキャリア
世界中の学生と学び合うことができます。自身が興味のあるエリアやテーマのプログラムに参加可能です。	オンラインで交流を深めた後、プロジェクト参加校の海外拠点や海外大学に集合して学び合います。	オンライン交流→短期実留学→中長期実留学という新たなステップでグローバルキャリアを醸成できます。

経済的支援 「海外トップユニバーシティ留学奨励助成金」1学期最大300万円を助成

世界大学ランキング上位校への留学を促進するため「明治大学学生海外トップユニバーシティ留学奨励助成金」制度を整備。返還の必要がない給付型助成金で、大学指定の海外トップユニバーシティに協定留学または認定留学する学生に対して、1人につき1学期あたり最大300万円または100万円の留学費用を助成します。

留学奨励助成金S

助成金額	300万円（1学期・上限）
採用人数	約5名
対象大学	スタンフォード大学 ペンシルベニア大学 コロンビア大学 ハーバード大学　ほか

留学奨励助成金A

助成金額	100万円（1学期・上限）
採用人数	約35名
対象大学	カリフォルニア大学バークレー校 カリフォルニア大学ロサンゼルス校 カリフォルニア大学デービス校

外国語教育 総合大学ならではの充実度。学部の枠を超えた実践的な学び

Meiji Language Program
（学部間共通外国語科目）

学部の枠を超えて開講される外国語科目。ネイティブ・スピーカーによるレベル別の会話中心の授業で、4キャンパスで約180クラスあります。普段学ぶキャンパス以外でも受講が可能です。

English Communication・ドイツ語会話・フランス語会話・中国語会話	初級レベル～上級レベルの会話クラスです。担当教員はほとんどがネイティブ・スピーカーで、個性的な授業が展開されます。
資格英語・資格ドイツ語・資格中国語	問題を解く経験を積み、各種検定合格を目指すクラスです。
ロシア語・ロシア語会話・スペイン語・スペイン語会話・韓国語・イタリア語・アラビア語	初級文法や簡単な日常会話から学習を始め、中級レベルまでの文法理解・読解・口頭表現などを学ぶクラスです。
古典ギリシア語・ラテン語	初級文法などの基礎的事柄を修得することができるクラスです。
Intercultural Communication（English）・国際理解講座（ドイツ語圏・フランス語圏・中国語圏）	実践型外国語強化講座。外国語で講習を受け、討論し、レポートを書くことで高度な外国語運用能力を養います。

集中講座（夏期・春期）

夏季・春季休暇中に実施される約2週間の短期集中型のプログラムで、一部には合宿形式の講座もあり、語学力に一層磨きをかけることができます。

海外語学研修

長期休暇を利用した、3～6週間の海外留学プログラムです。主な目的は異文化コミュニケーション力の向上で、語学だけでなく現地の文化や習慣も学びます。

国際教育センター主催「短期海外研修」実施例

夏季海外研修（8・9月）

国	研修先	言語	期間	宿泊先
イギリス	シェフィールド大学	英語	4週間	ホームステイ
カナダ	ヨーク大学	英語	3週間	寮
カナダ	マクマスター大学	英語	3週間	寮
フィリピン	エンデラン大学	英語	3週間	寮
			6週間	寮
オーストリア	ウィーン大学	ドイツ語	4週間	寮
フランス	リヨン・カトリック大学	フランス語	4週間	寮

春季海外研修（2・3月）

国	研修先	言語	期間	宿泊先
アメリカ	ワシントン大学	英語	3週間	ホームステイ
カナダ	ユーコン大学	英語	4週間	ホームステイ
カナダ	ブリティッシュ・コロンビア大学	英語	4週間	ホームステイ
カナダ	ビクトリア大学	英語	4週間	ホームステイ
ニュージーランド	オークランド大学	英語	4週間	ホームステイ
オーストラリア	アデレード大学	英語	5週間	ホームステイ
フィリピン	エンデラン大学	英語	3週間	寮
			6週間	寮
スペイン	バルセロナ自治大学	スペイン語	4週間	ホームステイ

留学生の受け入れ 約2,000人の留学生が集う学び舎。国際交流の機会がすぐそばに

明治大学では世界各国から来た多くの留学生が学んでいます。各キャンパスにある国際交流ラウンジでは、留学生との交流促進イベントなどが開かれており、多様な価値観を持つ留学生たちと切磋琢磨する中で、異文化への理解を深め、国際的な感覚を磨くこともできます。

TOPICS

国際交流学生団体「キャンパスメイト」

キャンパスメイトは、留学生を支援したり、学内での国際交流を促進したりする大学公認の学生団体。学生たちが主体的に異文化理解、様々な国の学生同士の交流を企画しています。

VOICE

相手の立場に立ったコミュニケーションで、留学生を支えたい。

政治経済学部政治学科2年
勝又 海星さん
（静岡県立御殿場南高等学校卒業）

高校生のころから英会話や留学に興味があった私。様々な国際交流イベントを企画、運営している団体、「キャンパスメイト」に参加し、現在は運営代表を務めています。特に印象に残っているのは、「Tandem Language Exchange Online」というオンラインイベントです。様々なトピックを前半は英語、後半は日本語のみを用いて言語交流するイベントですが、文化の違いから伝えたいことが上手く伝わらずもどかしい思いをすることがありました。自分の言葉をかみ砕き、相手の知っているものをたとえに用いるなど、伝わりやすくなるよう工夫することで相手の立場に立ってコミュニケーションをとる能力がつきました。今後も幅広い学生にイベントを楽しんでもらえるよう、新たな企画に挑戦し、国際交流の輪に多くの人を巻き込みたいと考えています。そして、留学生が困ったときに頼れる環境を明治大学に築きたいです。

GLOBAL

長期留学 充実した制度と万全のサポート体制。国際社会で生きる力を身につける

1.協定留学　本学と協定を結んでいる海外の大学に留学します。学内選考があり、国際教育センターや所属学部経由で手続きを始めます。

2.認定留学　学生が自ら留学先を選ぶ留学です。出願手続きなどは学生本人が行い、入学許可取得後、大学への申請を行います。

※大学間協定：全学部生対象、学部間協定：当該学部生のみ対象

協定留学・認定留学の4つのPOINT

POINT 1 助成金がもらえる

協定留学・認定留学の制度を利用して海外留学する場合は、明治大学外国留学奨励助成金に応募が可能です。

POINT 2 期間は約1年間

留学期間は原則として1学期間から1学年間で、本学の在学期間に算入されます。

POINT 3 卒業単位として認定

留学先での修得単位は、所定の手続き・審査を経ることで本学の卒業単位として認定されます。

POINT 4 4年間で卒業可能

明治大学の制度を利用する場合は、休学せずに留学することができます。諸条件を満たせば4年間での卒業も可能です。

留学先 世界で学ぶ。豊富な選択肢で広がるチャンス

［留学できる協定校］

※海外協定校は364校（2023年1月末現在）

46カ国・地域 269大学・学部

大学間協定留学 募集情報はこちら

● ヨーロッパ

88校

イギリス(8)　フランス(26)　オランダ(2)　ベルギー(1)　スウェーデン(5)　フィンランド(1)　ノルウェー(2)　ドイツ(12)　オーストリア(3)　ブルガリア(1)　スイス(1)　ルーマニア(2)　ポーランド(2)　リトアニア(2)　イタリア(5)　ハンガリー(1)　セルビア(1)　スペイン(6)　ポルトガル(1)　ロシア(5)　デンマーク(1)

● アジア

96校

韓国(22)　中国(24)　台湾(11)　香港(3)　インド(2)　ベトナム(7)　マレーシア(5)　ミャンマー(1)　シンガポール(3)　タイ(8)　インドネシア(5)　フィリピン(3)　ラオス(1)　スリランカ(1)

● オセアニア

8校

オーストラリア(7)　ニュージーランド(1)

● 北米

65校

カナダ(8)　アメリカ(57)

● 中南米

9校

メキシコ(2)　ブラジル(3)　アルゼンチン(1)　コロンビア(3)

● アフリカ

2校

ガーナ(1)　セネガル(1)

● 中東

1校

トルコ(1)

短期留学 興味のある分野で国際感覚を磨く。多彩な留学・研修プログラム

海外テーマ特化型研修

専門科目や興味のあるテーマを英語で学び、英語で発信することで、より高度な英語運用能力や異文化理解力、問題発見・解決力などを身につけます。

海外実習

海外でのインターンシップやボランティアなどの実践活動を通じて、専門知識や能動的なコミュニケーションスキルなどグローバル人材としての素養を培うことを目標としています。

● ソーシャル・イノベーション実習
（VIA Exploring Social Innovation）

スタンフォード大学デザインスクール（d.school）が提唱する「デザイン思考」を軸としたワークショップへの参加や、社会の課題に取り組むNPOやチェンジメーカーの話を聞く中で、アジア各国からの参加者とディスカッションやアクティビティを行いながら、最先端の社会イノベーションについて学びます。

● ビジネス・キャリア実習（ベトナムインターンシップ）

海外で働くために必要な知識や実務能力を高め、将来のキャリア形成の動機づけを図ることを目的としています。平均年齢が低く、経済発展も著しいベトナムで約1カ月の企業実習を行うとともに、現地大学生とキャリア観をともに語り合う中で、海外で働くことの意味を学びます。

各学部主催の短期海外研修

各学部が所属学生を対象に2〜4週間の短期海外研修を実施しています。学部のカリキュラムに基づいて計画されており、単に語学を学ぶだけでなく専門分野に特化したプログラムを展開していることが特長です。

STUDY ABROAD
詳しくは各学部ページの
STUDY ABROADをCHECK!

長期海外実習 国連機関でのインターンシップ 実務スキルの獲得と国際貢献

国連ユースボランティア

©WFP Nepal

開発途上国の国連事務所において、様々なバックグラウンドを持つ人々と意見を交わしながら、グローバル人材として必要な国際社会に関する知識や異文化理解、チームワーク等を培うことを目的とした約5カ月のプログラムです。派遣先では広報活動やプロジェクト運営の支援活動等のボランティア活動を通して、持続可能な開発目標の達成を目指します。

VOICE

留学先：ブリティッシュ・コロンビア大学
プログラム：派遣型研修

ブリティッシュ・コロンビア大学派遣型研修で1カ月間、カナダへ留学しました。特に印象に残っているのは、他大学を含めた留学生のグループ3、4名単位で行うグループワークです。環境系など様々な分野について調べ、発表する中で、語学力向上に加え、カナダの文化や環境を深く学ぶことができました。留学先の学生と触れ合う機会も多く、親しく接してくれる彼らに感化され、私自身も主体的に交流するようになって、積極性や行動力が身につきました。将来はこの経験を活かし、外国の方ともかかわる機会のある仕事に就いて、国内外を問わず様々な人と主体的に交流したいです。

農学部生命科学科3年　宮路 珠衣さん
（東京都私立國學院高等学校卒業）

VOICE

留学先：高麗大学
プログラム：大学間協定留学

当初から法律と海外、それぞれに興味があった私。入学後に公務員に興味を持ち、中でも海外の人とかかわる機会の多い入国審査官を志望するように。海外での取得単位も卒業要件として認められる大学間協定プログラムを知り、留学を決めました。法学部でじっくり学んだのち、大学3年次の春学期に韓国に留学。日本を韓国人がどう見ているのか、異国を訪れる外国人はどんな心境なのかを体感できたほか、異文化理解や法律の学びも深められました。留学時の経験を生かして、日本への客観的な視点を持って外国人とスムーズに接する入国審査官となり、国際交流の発展に貢献したいです。

法学部法律学科公共法務コース3年　東海林 有希葉さん
（和歌山県私立智辯学園和歌山高等学校卒業）

PROMISING #2

圧倒的な実績・柔軟なサポートで「個」を将来に導く

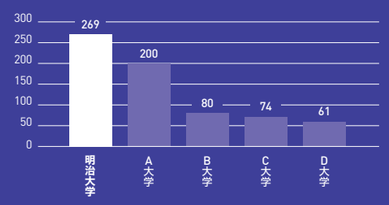
［就職キャリア支援］

「就職に力を入れている大学」1位

堂々の13年連続ランキング1位。

高校の進路指導教諭が選ぶ「就職に力を入れている大学」ランキングで、13年連続1位に選出されています。多彩な支援行事の実施や、独自の選考対策、教職員のサポート体制の充実などが、高く評価されています。

※大学通信調査（2022年10月発表）より



“就職の明治” 7つのキーワード

相談
キャリア相談から選考対策まで
経験豊かな相談員が一人ひとりと
真正面から向きあい、相談に乗ります。

企業との連携
毎年多くの企業とコラボレーションした
様々な種類の支援行事を実施しています。

就職活動のノウハウ
長年のノウハウをすべて詰め込んだ、
オリジナルの「就職活動手帳」を
全員に配付。

情報提供
独自の就職支援システム（M-Career）で、OB・OG名簿、
先輩の就活体験記、求人情報など
膨大な情報を簡単に検索できます。

選考対策
面接練習、エントリーシート添削、オンライン
選考対策など、多様化する選考に
対応した各種対策講座を多数実施。

仕事体験
1・2年生限定の大学提携型プログラム
「Meiji Job Trial」に加え、
3年生のインターンシップ参加のための
各種対策イベントも実施。

迅速・柔軟なサポート
コロナ禍でいち早くオンライン支援に移行し、
さらに対面とオンラインを組み合わせた
利便性の高いハイブリッド型へと
現在も進化し続けています。

大学院進学や教員免許等取得のサポートも充実　大学院　P.111　資格課程　P.137

就職支援 P.21　キャリアデザイン P.22　就職データ P.23　国家試験指導センター・メディア表現ラボ P.135、P.136

インターンシップで出会った、運命の「働きたい」企業。就職活動に居合道の部活にと、全力投球で内定を獲得。

15年間続けている居合道を部活動に選び、2022年の第55回東日本学生居合道大会個人戦で優勝、第37回全日本学生居合道大会で準優勝しました。

就職先：株式会社クラレ

政治経済学部経済学科4年
佐々木 美菜さん
（神奈川県私立桐蔭学園高等学校卒業）

どのような環境なら、自分らしく働き、社会に貢献できるのか。そして「より良い社会を創る」という想いを形にできるのかを軸に、数多くのインターンシップに参加。会社の事業や社員について知り、実践的な学びを通して、「働きたい」と感じる企業に出会うことができました。しかし、選考が進むにつれて、就職活動への取り組み方に不安が生じ、就職キャリア支援センターに相談。職員の方のフィードバックを経て、自分にとってのベストを選び取る柔軟性が身についたと感じます。さらに、代々の先輩方が活動の取り組みを詳細に記した「就職活動報告書」も、大いに活躍。的確で質が高い情報の宝庫で、私たち後輩に向けた心強いアドバイスに背中を押されながら、就職活動をやり切ることができました。

就職活動の支えとなったのは、15年続けている居合道と、部活動でともに稽古に励む後輩たち。どちらも自身を高め、成長させてくれる存在です。みずからが主将となり、一度は廃部危機に陥った居合道部の再建や、学生大会の組織運営に奔走した経験は、問題を提起し、周囲を巻き込みながら改善していける自身の強みにも気づかせてくれました。部活動も就職活動も、中途半端で終えるのはもったいない。全力で向き合えば、必ず道は拓けると実感しています。在学中に培った強みを活かし、社会人として、心から良いと思える商品を世の中に広める。より良い社会づくりに貢献していきたいです。

PROMISING

就職支援

「就職の明治」が誇る、きめ細かな支援体制。多種多様なイベントを通じて、ゴールへ導く

本学就職活動生の人気企業（一部抜粋）への過去3年の就職者数

伊藤忠商事	6人	楽天グループ	116人	SCSK	77人
住友商事	4人	ロッテ	8人	エヌ・ティ・ティ・データ	51人
みずほフィナンシャルグループ	59人	トヨタ自動車	20人	大日本印刷	32人
三井住友銀行	72人	本田技研工業	26人	凸版印刷	52人
三菱UFJ銀行	39人	キヤノン	40人	東日本電信電話（NTT東日本）	53人
損害保険ジャパン	18人	ソニーグループ	25人	日本放送協会（NHK）	14人
三井住友海上火災保険	51人	日本電気（NEC）	96人	東日本旅客鉄道（JR東日本）	48人
アクセンチュア	46人	富士通	80人	国家公務員一般職	195人
日本アイ・ビー・エム	57人	日立製作所	45人	東京都庁	64人
有限責任監査法人トーマツ	45人	キーエンス	40人	東京特別区	164人

※2022年3月時点データ

「個」に合わせたサポートを展開

納得して就職活動を終えてもらうためのサポート体制

各種ガイダンス

多様な進路の選択をしていくための全体スケジュールを共有するところから始めます。その後は、都度、就職活動における大事な時期に、重要なことを学生全体に向けて発信しています。

業界・仕事理解に向けたサポート

学生が進路先を選択するために必要な、業界や仕事の理解を深めるイベントを実施しています。まずはどのような仕事があるのか、「職種」を切り口に理解を広げ、「業界」「企業」「社会課題」などさらに詳しい切り口で理解促進をサポートします。

「リアルな声」を聞く機会の創出

年間を通じて、様々な業界・企業からOB・OGを派遣してもらうなど、現場で活躍している社員の方々の協力を得ています。学生が「リアル」を体感できる場を創出しています。

各種選考対策

就職活動における、選考（エントリーシート、各種Webテスト、各種面接）に向けた対策講座を実施しています。全体に向けた講座のみならず、個別にアドバイスをする場や、練習を積める場も準備しています。

個別相談

エントリーシート（履歴書）作成や面接など、就職活動で直面している問題や進路選択全般について「Face to Face」の個別相談を行っています。一人ひとりにきめ細やかなアドバイスを行うことで、学生が自信を持って新たな活動に取り組めるようにしています。

公務員志望者向けサポート

公務員試験とはどういうものかを解説するガイダンスをはじめ、国家公務員の採用を行う人事院や各自治体の人事担当者、OB・OGを招いての業務理解説明会や質問会を実施。面接試験対策として模擬面接も実施しており、公務員を目指す学生のサポートも万全です。

キャリアデザイン

3本の柱で初年次から手厚くサポート。理想の将来を描きながら成長を促す

01 Career Design Program

社会との接点を創出し、多様なキャリアから自身に合った将来を見つける。

低学年のうちから自身のキャリアについて考える機会を提供し、多様なキャリアを示すことで、貴重な大学生活をどう過ごすのか意識します。キャリアだけではなく、大学生活の過ごし方についてもロールモデルを示します。

02 Meiji Job Trial（学部1・2年生限定就業体験プログラム）

企業への就業体験を通して、社会と自分を理解する。

学部1・2年生に対象を限定した「3日間、15時間以上」の就業体験プログラム。派遣後は全員に振り返り面談を行うことで、一過性の経験とするのではなく今後の学生生活にどう生かしていくかまでフォローします。

2022年度実績　参加学生数：233人　協力企業・団体数：185社

03 MEIJI Challenge Program

（PBL／課題解決型学習）

企業から示される課題にグループで取り組み現場視点<リアル>を養う。

企業からの課題にグループで取り組むＰＢＬ（課題解決型学習）。実際の業務に則したテーマが与えられ、学生は正解のない問いに対してグループでビジネスプランを提案。優れた提案は実装や商品化も検討されます。

協力企業・団体実績　Twitter Japan／小学館／東京テアトル／北九州市　など

VOICE

PBL（課題解決型学習）

授業で企画した商品が、大学の枠を超えたステージへ導いてくれた。

1年次に参加した商品企画のPBL（課題解決型学習）が楽しく、2年次も受講。北九州の醸造メーカー「ごとう醤油」で発売する新調味料を現地の大学生と共同で企画しました。内容は非常に自由度が高く、調味料の種類からマーケティング戦略に至るまで班員で話し合い、方針を立てて進行します。私は班のリーダーを担当。各員の得意分野や視点の違いを踏まえて、作業の采配や議論の取りまとめに注力した結果、チームでの課題解決方法が身につきました。PBL終了後、ごとう醤油さんから調味料事業化のお話をいただき、現在はプロジェクトメンバーとして参画中。大学の枠を超えた学びで、社会で活きる能力が日々身についていると感じます。

情報コミュニケーション学部情報コミュニケーション学科2年
烏田 琴子さん（東京都私立山崎学園富士見高等学校卒業）

内定　就職先：日本電気株式会社

就職活動に「早すぎる」はない。手厚いサポートのおかげで大きな夢に近づけた。

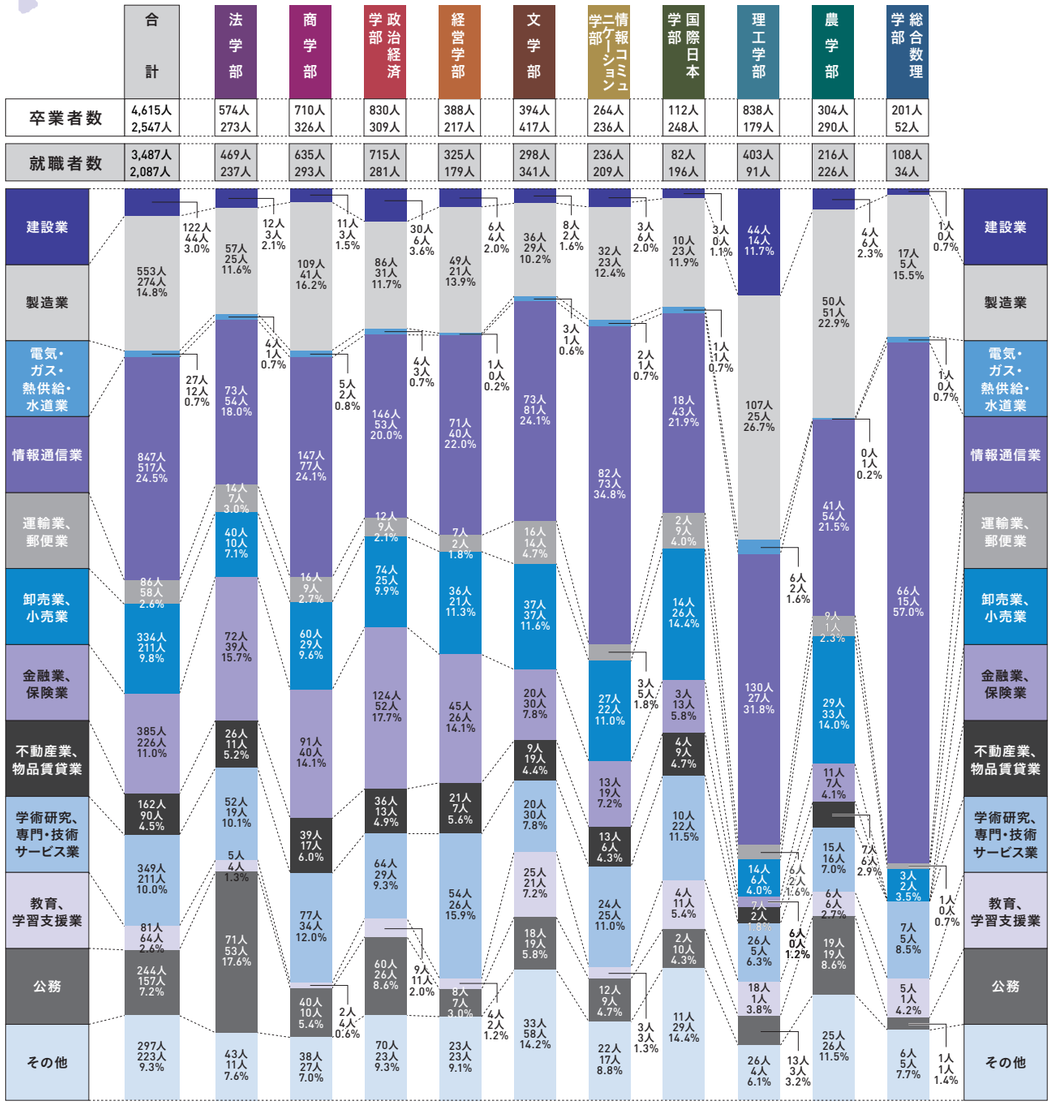
大学主催の各種イベントに参加し、企業研究を進める中で、ITサービスで日本に貢献したいと感じるように。3年生の冬には就職キャリア支援センター主催の模擬面接会に参加し、早期から集団面接の雰囲気を体感。就職活動のプロからいただいたフィードバックは、実際に面接を受ける際にも役立ちました。ITサービス会社への就職が叶ったのは、OBの紹介サービスなど、大学の手厚いサポートがあってこそ。学生の皆さんに意識してほしいのは、「今」就職活動に取り掛かるのが最善だということです。動き出しが遅れたと感じても、その時点から一生懸命に取り組めば、きっと道は開けます。

文学部史学地理学科4年　**小寺 達也**さん（東京都私立東京農業大学第一高等学校卒業）

卒業生就職データ2022（2022年9月・2023年3月卒業）

業種別就職分布図（学部別）

※上段＝男子　中段＝女子　下段＝%　※%は学部ごとの就職者数に対しての割合（合計数）
※表中のパーセンテージは四捨五入されているため、合計しても100%にならない場合があります。



2023年3月31日現在

就職以外の進路状況（学部別）

※上段＝男子　下段＝女子
※卒業後の進路として「進路不明」の者などがいるため、就職者数・大学院進学・各種学校入学・各種試験受験を合計しても、卒業生数とは一致しません。

	合計	法学部	商学部	政治経済学部	経営学部	文学部	情報コミュニケーション学部	国際日本学部	理工学部	農学部	総合数理学部
大学院進学（国外含む）	670 204	38 14	12 2	36 8	11 6	37 20	4 4	6 6	385 78	63 54	78 12
各種学校入学（国外含む）	25 23	3 5	2 3	4 0	1 3	7 5	1 2	0 4	4 1	2 0	1 0
各種試験受験	118 58	21 5	27 13	24 11	14 10	7 6	2 6	4 4	11 1	6 2	2 0

（人）

主な就職先

※主な就職先の抜粋です。
※左側＝男子　右側＝女子　※理工学部、農学部と総合数理学部は大学院生を含みます。

法学部	国家公務員（一般職）	12／16	（株）千葉銀行	3／2	りそなグループ	2／2	損害保険ジャパン（株）	3／0	丸全昭和運輸（株）	1／2
	東京特別区	18／9	伊藤忠テクノソリューションズ（株）	2／2	あいおいニッセイ同和損害保険（株）	2／1	TIS（株）	3／0	三井住友海上火災保険（株）	3／0
	国税専門官	4／6	埼玉県庁	2／2	アクセンチュア（株）	1／2	ディップ（株）	2／1	三井不動産リアルティ（株）	3／0
	東京都庁	5／2	日本アイ・ビー・エム（株）	3／1	NECソリューションイノベータ（株）	1／2	富国生命保険（相）	3／0	三菱UFJ信託銀行（株）	3／0
	神奈川県庁	5／1	パーソルキャリア（株）	3／1	コムチュア（株）	3／0	富士通（株）	1／2	レバレジーズ（株）	3／0
	三井住友信託銀行（株）	1／5	みずほフィナンシャルグループ	3／1	埼玉県警察本部	2／1	（株）ベイカレント・コンサルティング	3／0	楽天グループ（株）	2／0
商学部	NECソリューションイノベータ（株）	8／4	（株）キーエンス	7／1	有限責任あずさ（監査）	4／2	（株）電通デジタル	3／2	りそなグループ	2／3
	楽天グループ（株）	9／2	（株）ベイカレント・コンサルティング	7／0	アクセンチュア（株）	3／2	東京都庁	5／0	（株）オープンハウス	4／0
	日本電気（株）	7／3	みずほフィナンシャルグループ	7／0	国家公務員（一般職）	3／2	（株）野村総合研究所	1／4	（株）セールスフォース・ジャパン	1／3
	東京特別区	7／2	（株）横浜銀行	7／0	埼玉県庁	4／1	パーソルプロセス&テクノロジー（株）	3／2	第一生命保険（株）	2／2
	三井住友信託銀行（株）	3／6	損害保険ジャパン（株）	6／0	（株）ジェーシービー	2／3	東日本電信電話（株）	3／2	凸版印刷（株）	3／1
	（株）NTTドコモ	7／1	有限責任監査法人トーマツ	5／1	TIS（株）	4／1	みずほ証券（株）	2／3	（株）リクルート	2／2
政治経済学部	東京特別区	7／10	楽天グループ（株）	6／2	富士通（株）	4／2	TIS（株）	4／1	（株）ジェーシービー	4／0
	国家公務員（一般職）	8／3	りそなグループ	7／1	（株）三井住友銀行	2／4	日本電気（株）	5／0	信金中央金庫	3／1
	みずほフィナンシャルグループ	8／1	（株）千葉銀行	7／0	伊藤忠テクノソリューションズ（株）	2／3	あいおいニッセイ同和損害保険（株）	3／1	第一生命保険（株）	2／2
	SMBC日興証券（株）	6／2	国税専門官	6／0	（株）キーエンス	4／1	アクセンチュア（株）	1／3	東海東京フィナンシャル・ホールディングス（株）	3／1
	東京都庁	6／2	大和証券（株）	4／2	積水ハウス（株）	4／1	警視庁	3／1	日本生命保険（相）	2／2
	三井住友信託銀行（株）	6／2	東京海上日動火災保険（株）	4／2	損害保険ジャパン（株）	4／1	財務専門官	4／0	三菱UFJ信託銀行（株）	2／2
経営学部	みずほフィナンシャルグループ	5／1	シンプレクス・ホールディングス（株）	3／1	（株）エヌ・ティ・ティ・データ	0／3	PwC税理士法人	3／0	（株）セガ	1／1
	デジタル・アドバタイジング・コンソーシアム（株）	2／3	TIS（株）	2／2	（株）オービック	3／0	三井住友信託銀行（株）	1／2	（株）セブン-イレブン・ジャパン	1／1
	明治安田生命保険（相）	2／3	有限責任監査法人トーマツ	3／1	（株）キーエンス	3／0	有限責任あずさ（監査）	3／0	日本郵便（株）	1／1
	アマゾンジャパン（同）	1／3	富士通（株）	3／1	東京特別区	2／1	楽天グループ（株）	3／0	（株）日本総合研究所	0／2
	EY新日本有限責任監査法人	4／0	アビームコンサルティング（株）	2／1	日本電気（株）	3／0	（株）NTTデータ・フィナンシャルテクノロジー	2／0	パナソニック（株）	2／0
	（株）NTTドコモ	3／1	SMBC日興証券（株）	2／1	パーソルプロセス&テクノロジー（株）	2／1	国家公務員（一般職）	0／2	三井住友海上火災保険（株）	1／1
文学部	日本電気（株）	3／2	（株）ヨドバシカメラ	3／1	パーソルテンプスタッフ（株）	1／2	アイリスオーヤマ（株）	0／2	ソフトバンク（株）	1／1
	SMBC日興証券（株）	3／1	イオンリテール（株）	2／1	富士ソフト（株）	2／1	（株）内田洋行	1／1	大日本印刷（株）	2／0
	国家公務員（一般職）	1／3	キンドリルジャパン（株）	2／1	（株）メンバーズ	1／2	ANAシステムズ（株）	0／2	東京都庁	2／0
	埼玉県教育委員会	3／1	（株）トーハン	2／1	楽天グループ（株）	2／1	（株）NTTドコモ	1／1	日本放送協会	0／2
	東京都教育委員会	2／2	日本生命保険（相）	0／3	りそなグループ	3／0	神奈川県庁	0／2	日本郵便（株）	1／1
	東京特別区	2／2	パーソルキャリア（株）	1／2	レイス（株）	2／1	警視庁	1／1	富士通（株）	1／1
情報コミュニケーション学部	東京特別区	4／2	（株）メンバーズ	2／2	日本タクシー・サービシズ（株）	2／1	国家公務員（一般職）	2／0	（株）日立製作所	0／2
	（株）電通デジタル	1／4	エヌ・ティ・ティ・コムウェア（株）	1／2	富士通（株）	2／1	（株）ジェーシービー	1／1	富士フイルムビジネスイノベーション（株）	1／1
	日本電気（株）	2／3	（株）エヌ・ティ・ティ・データ	1／2	伊藤忠テクノソリューションズ（株）	2／0	シンプレクス・ホールディングス（株）	2／0	三菱食品（株）	2／0
	楽天グループ（株）	4／1	埼玉県庁	1／2	SCSK（株）	1／1	東京都庁	1／1	三菱電機（株）	2／0
	（株）ADKホールディングス	1／3	（株）サイバーエージェント	2／1	（株）NTTドコモ	1／1	日本放送協会	2／0	りそなグループ	2／0
	コムチュア（株）	4／0	TIS（株）	3／0	コクヨ（株）	1／1	（株）バンダイナムコアミューズメント	1／1	レバレジーズ（株）	2／0
国際日本学部	楽天グループ（株）	3／3	アマゾンジャパン（同）	0／2	（株）ニトリ	0／2	サントリーグループ	0／1	PwCコンサルティング合同会社	0／1
	アクセンチュア（株）	0／4	（株）エヌ・ティ・ティ・データ	0／2	日本航空（株）	1／1	四季（株）	0／1	富士通（株）	0／1
	（株）NTTドコモ	1／3	（株）ZEALS	1／1	（株）ファンケル	0／2	双日（株）	0／1	（株）三菱UFJ銀行	1／0
	東京特別区	2／2	（株）JTB	0／2	富士フイルムビジネスイノベーションジャパン（株）	1／1	（株）電通	1／0	森ビル（株）	0／1
	日本タクシー・サービシズ（株）	2／1	（株）千葉銀行	1／1	ロート製薬（株）	0／2	東京海上日動火災保険（株）	1／0	（株）ヤクルト本社	0／1
	（株）丸井グループ	1／2	千葉県庁	0／2	小田急電鉄（株）	0／1	（独）日本貿易振興機構	1／0	ヤフー（株）	0／1
理工学部	SCSK（株）	12／1	鹿島建設（株）	8／1	（株）小松製作所	6／1	大成建設（株）	6／0	ソニーグループ	4／1
	（株）日立製作所	11／0	TIS（株）	9／0	東京電力ホールディングス	5／2	トヨタ自動車（株）	5／1	大和ハウス工業（株）	3／2
	三菱電機（株）	10／1	（株）野村総合研究所	7／1	日産自動車（株）	6／1	（株）豊田自動織機	6／0	（株）竹中工務店	3／2
	NECソリューションイノベータ（株）	7／3	富士通（株）	8／0	神奈川県教育委員会	6／0	パナソニック（株）	5／1	日本アイ・ビー・エム（株）	4／1
	（株）大林組	8／2	伊藤忠テクノソリューションズ（株）	6／1	キヤノン（株）	6／0	本田技研工業（株）	4／2	富士電機（株）	4／1
	いすゞ自動車（株）	9／0	キオクシア（株）	7／0	京セラ（株）	6／0	マイクロンメモリジャパン（株）	5／1	（株）日本総合研究所	4／0
農学部	NECソリューションイノベータ（株）	4／6	日本食研グループ	1／3	日清オイリオグループ（株）	1／2	富士通（株）	1／2	食品衛生監視員	0／2
	国家公務員（一般職）	3／6	三菱食品（株）	3／1	（株）日本アクセス	3／0	富士通Japan（株）	2／1	（株）日本政策金融公庫	0／2
	全国農業（協組連）本所	1／5	（株）エヌ・ティ・ティ・データ	0／3	日本生活（協組連）	1／2	横浜市役所	1／2	日本ハム（株）	2／0
	日本たばこ産業（株）	2／3	（株）グレープストーン	0／3	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構	2／1	（株）伊藤園	1／1	マルハニチロ（株）	2／0
	TIS（株）	2／2	国家公務員（総合職）	1／2	パーソルテンプスタッフ（株）	0／3	大塚製薬（株）	1／1	丸美屋食品工業（株）	1／1
	東京都庁	2／2	デリカフーズ（株）	0／3	（株）日立システムズ	3／0	カネコ種苗（株）	1／1	（株）ヤクルト本社	1／1
総合数理学部	エヌ・ティ・ティ・コムウェア（株）	6／1	KDDI（株）	3／0	コムチュア（株）	2／0	チームラボ（株）	2／0	東日本電信電話（株）	0／2
	（株）日立製作所	5／2	TIS（株）	3／0	（株）サイバーエージェント	2／0	（株）DTS	2／0	富士ソフト（株）	2／0
	NECソリューションイノベータ（株）	5／0	日本アイ・ビー・エム（株）	1／2	（株）JR東日本情報システム	1／1	（株）電通国際情報サービス	2／0	（株）富士通エフサス	2／0
	SCSK（株）	3／1	ヤフー（株）	3／0	（株）SUBARU	2／0	凸版印刷（株）	2／0	（株）ベネッセコーポレーション	1／1
	富士通（株）	2／2	楽天グループ（株）	1／2	ソフトバンク（株）	2／0	日産自動車（株）	2／0	みずほリサーチ&テクノロジーズ（株）	2／0
	（株）インターネットイニシアティブ	3／0	（株）リコー	2／1	第一生命情報システム（株）	2／0	パナソニックオートモーティブシステムズ（株）	2／0	（株）エヌ・ティ・ティ・データ	1／0

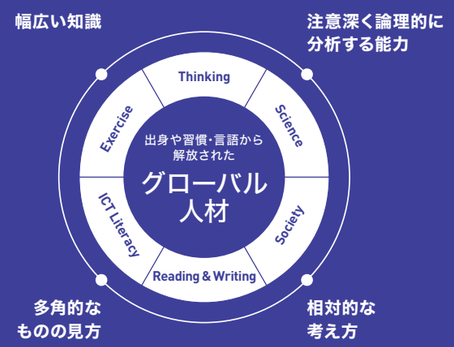
ACTIVE #3 分野を越えて主体的に学び、多彩な「個」の力を身につける

[文理融合の学び]

多様性を身につけ、グローバルに活躍する人材へ

さらに国際化が進む昨今。世界を舞台に活躍する人材に求められるのは、分野の垣根を越えて広く物事を捉える視点です。明治大学には、そんな視点を身につける環境が整っています。

明治大学で展開するリベラルアーツ



他学部履修制度 10学部28学科の学び

所属学部・学科での卒業要件を満たすことが、大学での最終目標ではありません。これからの社会で活躍するために、ボーダーレスかつアクティブに学んで、総合的・体系的な知識を養うことも可能です。

全学共通総合講座 (P.27) 約30講座を開講

一般教養やキャリア、時事、ビジネスなど、幅広い学問的視野や問題発見能力等を培うことを目的とした、多彩な講座を開講しています。

[アクティブラーニング]

「アクティブラーニング」とは？ 従来の座学で教わる学びではなく

学生が授業の主体となり自ら学ぶこと

主体的な学びを支える教育システム

ゼミもアクティブ

10〜20人で1・2年次から開始

少人数での実施によりゼミへの積極参加を促し、コミュニケーションやプレゼンテーションのスキルを高めます。

50分講義 × 50分ディスカッション

100分授業の実施

1コマ100分を50分ごとのモジュールに区分し、前半を講義、後半をディスカッションといったアクティブな使い方が可能に。

留学にも挑戦しやすい

2学期4ターム制導入

クォーター期間（7週）で授業（半期）が完結するよう学年暦を設計。留学に挑戦しやすい環境を整えています。

大企業とも連携

PBL[※1]授業の展開

多様な業種の有力企業と連携。実践的に学びつつ、第一線の企業人と直に触れる機会を豊富に用意しています。

※1 課題解決型学習［Project Based Learning］

一人ひとりの挑戦を支える、多様な出会いや学びの環境が、自分の「個」を磨いてくれた。

高校生のときにイギリスへ留学し、異文化に触れる刺激や歴史を学ぶ楽しさを知って以来、国際交流に興味を持っていました。ゼミでお世話になっている小林先生との出会いは、国際教育交流論の授業。日本の教育の課題解決について考えるというテーマはもとより、魅力を感じたのは先生の個性でした。ご自身が40歳を越えてから海外留学やパラグライダーに取り組むなど、年齢や条件に縛られず、諦めずに挑戦し続ける行動力。尊敬できる恩師と出会えたことは、確かな成長につながりました。また、切磋琢磨できる仲間と過ごした時間にも、かけがえのない価値を感じています。1・2年次での英語の授業では自分よりも英語力の高い人が、常に身の回りにいたことが成長につながりました。英語でのスピーチやプレゼンテーションは、一人でやることもあればチームを組むこともあり、ライバルでありながら、時に手を組んで成功を目指すという理想的な関係が、自分を高めてくれました。現在力を入れているのは、リトアニア留学の準備。現地での授業はすべて英語で行われるなど、英語力が鍛えられる環境なのですが、私が楽しみにしているのは、リトアニア語の習得。日本語・英語以外の第3の言語を話せるようになりたい。現地の文化や考え方は、日本語ではなく現地の言葉で感じてこそ深く学べるような気がして、今から期待しています。明治大学の、個を磨く挑戦を支えてくれる環境を活かして、さらに成長したいと思います。

国際日本学部国際日本学科3年　佐藤 矩之さん
（東京都私立桜美林高等学校卒業）

ACTIVE

学部の垣根を越えたプログラム（全学共通総合講座）

図書館活用法

明治大学の歴史

登戸研究所から考える戦争と平和（明治大学を知る）

1 リベラルアーツを身につける

PICK UP

「図書館活用法」

情報を集め、選択することは、変化の激しい現代社会を生き抜くために欠かせないスキルです。その第一歩として、知の宝庫である図書館を最大限に活用するための力を養う授業です。

2 あなたの将来を考える

PICK UP

自治労寄付講座「地方自治体の仕事と労働組合」

医療・福祉・環境・雇用など、地方自治体が提供する公共サービスの現状と課題、その解決策、労働の意義について、公共サービスを担う地方自治体などの関係者の話を伺います。地方公務員を志望する学生はもちろん、そうでない学生も、身近な地域の課題や、地域社会への市民参加について考え、実践することで、キャリア形成に役立てることを目指します。

3 変わりゆく社会の最先端を知る

PICK UP

「企業・産業のレジリエンスとイノベーション」

危機に瀕したときに、迅速に復元しうる力がレジリエンスであり、イノベーションです。日本の企業・産業は多くの危機や革新の時期（敗戦、高度経済成長等）を経て、現在は、グローバル化、情報革命、温暖化、資源制約、少子高齢化等に直面し、その適応力と革新力が試されています。レジリエンスとイノベーションの歴史と今後の方向について考えます。

4 ビジネスにおける実務力を学ぶ

PICK UP

「コントラクトブリッジで学ぶ数理科学入門A・B」

アジア、ヨーロッパ、アメリカで広く行われているカードゲーム「コントラクトブリッジ」の体験やその考察を通して、論理的な推論法や確率計算など数理科学の基礎部分を習得します。授業では数理科学の側面からアプローチを行い、合理的なビッドやプレイができることを目指します。

5 明治大学を知る

PICK UP

「明治大学の歴史」

3人の若き法学者によって創設された明治法律学校誕生の歴史を中心に、本学のこれまでの変遷をたどります。この講義を受けることで、帰属意識を高め、また学習意欲を高めることを期待しています。

数理データサイエンス

数理・データサイエンス・AI教育で、Society 5.0の実現を支える人材を育成する

NEW 2022年度開始プログラム

数理データサイエンス人工知能リテラシーレベルプログラム

数理・データサイエンス・AIを適切に理解し、それを活用する基礎的な能力を育成することを目的としたプログラム。

特徴1

「理論」と「実践」の両立

数理・データサイエンス・AIに関する知識面だけでなく、スキル面から学ぶことも求められる科目構成。

特徴2

社会的テーマの学習

「データサイエンスAI概論」では、法務、経済統計、電子政府・行政、会計・芸術と人工知能など、技術面だけでない社会的なテーマを幅広く取り扱う。企業の第一線で活躍する実務家も招き、タイムリーで実践的な内容を学ぶ。

特徴3

自習環境の整備と支援

統計解析・プログラミング等に使用する各ソフトウェアが導入されたパソコンが常時利用可能。また、ソフトウェア利用支援のスタッフがすべてのキャンパスの自習室に常駐する。

プログラム科目群・修了要件 ※学部（学科・専攻）ごとに設定

データサイエンス・AIの社会利用	社会変化・データ利活用事例・留意事項について学ぶ科目群	「データサイエンスAI概論」（全学共通総合講座）	2単位以上	合計6単位以上を取得
データサイエンス・人工知能演習	実データ・実課題を用いた演習など、データを読む・説明する・扱う科目群	「ICT統計解析Ⅰ」（情報関係科目） 「ICTアプリ開発Ⅰ」（情報関係科目） 「ICTデータベースⅠ」（情報関係科目）	2単位以上	
数理統計	数理統計による社会課題の解決について学ぶ科目群	「統計学A」（学部科目） 「数理と社会Ⅰ」（学部科目）	2単位以上	

経済支援

学生の「個」に寄り添った、教育支援策を展開

コロナ禍における学生支援に総額21億円の特別予算を拠出

ノートパソコンおよびWi-Fiルータの無償貸与

経済的事情により、授業開始日までにオンライン授業の受講環境の準備が困難な学生が対象（2020年度春学期）。

感染拡大に伴う5億円規模の「緊急学生支援金」の給付

「新型コロナウイルスの感染拡大による退学者を出さない」ことを目標に、学生5,000人以内を対象に1人10万円を給付。

「明治大学学生・教育活動緊急支援資金」（通称：学生緊急支援ファンド）を創設

新型コロナウイルス等の感染症や、大地震・台風等の自然災害といった有事における学生の支援・教育活動維持を目的に、他大学に先駆けて新設した、10億円規模のファンド。

- オンライン授業での学習環境を追加支援するため、希望する学生1人あたりに1万円を支給。
- 2020年度秋学期のオンライン授業を受講する全学生に、1人あたり4万円を支給。
- 校友（卒業生）や学生父母からの多額の寄付も原資に。

ACTIVE

国際日本学部

ウォルト・ディズニー・ワールド提携

アカデミック・インターンシッププログラム

このプログラムではフロリダ州立大学で約10日間の導入授業を受けたのち、フロリダ州中部のオーランドにあるウォルト・ディズニー・ワールドで、「キャスト」として約半年間のインターンシップに参加します。アカデミックな学習と給与を得ながらの業務実習を通して、多文化環境における組織と人間についての理解を深め、国際社会での適応力を養うのが目的です。このプログラムを経験した多くの卒業生が、様々なグローバルコミュニティで活躍しています。 ▶ P.89

©明治大学シェイクスピアプロジェクト

©明治大学シェイクスピアプロジェクト

大学主催行事

21世紀の新しいシェイクスピアを目指して

明治大学シェイクスピアプロジェクト

明治大学シェイクスピアプロジェクトは、今年で20回目を迎えるシェイクスピア劇上演プロジェクトです。サークルやゼミからは独立した団体で、学生がプロとコラボレーションして運営されています。コミュニケーション能力向上と明治大学の文化の発信を目標に発足し、翻訳、上演、企画運営のすべてを学生が主体となって行うのが特長です。「学生だからできない!」という考えを持たないことをモットーに、練習期間は3カ月、翻訳は半年かけて準備をしています。昨年(19回目)は、「夏の夜の夢」「二人の貴公子」の二本立てで公演を行い、3,100名を越える方にご来場いただきました。

情報コミュニケーション学部

フジテレビとの提携授業で、メディアリテラシーを身につける

メディアリテラシー講座「映像表現論」

テレビ番組制作を通じてメディアリテラシーを実践的に身につける「映像表現論」。撮影や取材の方法を学んだ学生たちは自ら取材の交渉やインタビュー、撮影を行い、VTRを制作。フジテレビの湾岸スタジオでは、アナウンサーやカメラマン、音声、フロアディレクターなどを学生が担当し、プロのスタッフの指導のもと、収録を行います。実践的な活動や、座学では味わえない現場体験を通じて、伝えることや情報の取捨選択の難しさを学びます。 ▶ P.83

学生部

すべての学生が「個」を磨き、「前へ」と進める場となるキャンパス環境整備を目指して

M-Naviプロジェクト

2007年度からの歴史あるM-Naviプログラムが、2022年度よりM-Naviプロジェクトとして生まれ変わりました。「多様性の尊重と包摂性」「持続可能な社会の実現」をテーマに、学生による学生のための支援(ピア・サポート)活動のアイディアを募集します。採択された団体はM-Naviピア・サポーターズに所属し、教職員の支援を受けながら、アイディアの実現を目指します。学生部が活動費用の助成を行い、個人またはチームによるピア・サポート活動をバックアップします。

ADVANCED #4

社会に貢献する研究事業で世界に挑む

［高水準の研究環境］

科学研究費助成事業交付金額

6億8,120万円※

2022年度の科学研究費助成事業の採択実績は6億8,120万円。
明治大学には多分野にわたり独創的・先駆的な研究を支援する環境が整っています。

※出典:「令和4年度科学研究費助成事業の配分について」(文部科学省)https://www.mext.go.jp/content/20230131-mxt_gakjokik-000027279_3.pdf

競争的研究費獲得件数

688件※

本学が代表・分担機関となり、全国の大学・研究機関等と連携して、競争的研究費の研究プロジェクトを推進しています。

※THE日本大学ランキング2023(2021年度実績)より

世界水準の研究拠点

14カ所

多彩な重点領域に対して、世界水準の研究を推進する拠点を設置。14におよぶ研究施設・拠点では、海外の大学・研究機関とも連携しています。

注目の研究

自律型移動ロボットの社会実装に向けて

黒田洋司・理工学部教授(自律型ロボット研究クラスター代表)は、自律型移動ロボットの研究開発の成果をもとにベンチャー企業を設立し、社会実装に向けてさらに研究を推進しています。

スプーンとお椀型の「エレキソルト」デバイス

宮下芳明・総合数理学部教授は、"塩分のとり過ぎ"という社会課題の解決のため、人体に影響しない微電流を用いて疑似的に食品の味の感じ方を変化させる「電気味覚」の技術開発など、「新しい食体験」に関する技術や社会実装の可能性を追求して研究を推進しています。

原動力は「好奇心」。先進的な技術環境で株式市場や株価を数理から考察する。

大学では、体育会フェンシング部に所属。研究との両立は大変でしたが、オンとオフをしっかり切り替え、インターカレッジへの出場も果たし、ベスト16入りしました。

日本経済や社会情勢にもつながる株価をベースに、企業の成長や将来性をデータ計算や分析などを用いて解明する「数理から考察する金融」に興味を惹かれ、3年次で金融系のゼミを選択しました。現在はRというプログラミング言語に株式市場のデータを落とし込み、計算や解析を実施。今後はこれらの結果を基に、日本銀行のETF（上場投資信託）買い入れに対する企業ごとの株価への影響を分析する予定です。ゼミには先進的な技術環境が整っており、金融知識はもちろん、機械学習やディープラーニングといった、最新の解析手法にも精通した先生がサポートしてくださいます。また、他のゼミ生の研究手法が自身の研究のヒントや勉強になることも多く、切磋琢磨しながら研究を進められます。
将来の目標は、挑戦であふれる社会を作ること。高校時代にやりたいことを諦めず、科学部の活動とフェンシングを両立させてきた経験から、人が成長する原動力は、好奇心とチャレンジ精神だと実感。好奇心をはぐくむ社会を作るために、教育系の企業に就職を決めました。大学は、興味があることや好きな学問を徹底的に追求できるステージでもあります。今、夢中で取り組んでいるデータ分析のスキルを、学校や家庭教育を支援する領域で活かしていきたいです。

総合数理学部現象数理学科4年
小佐井 彩花さん
(熊本県立宇土高等学校卒業)

就職先:教育系企業

ADVANCED

外部研究資金

社会の期待に応える、学術機関としての誇り。文理問わず、質の高い研究を幅広く展開

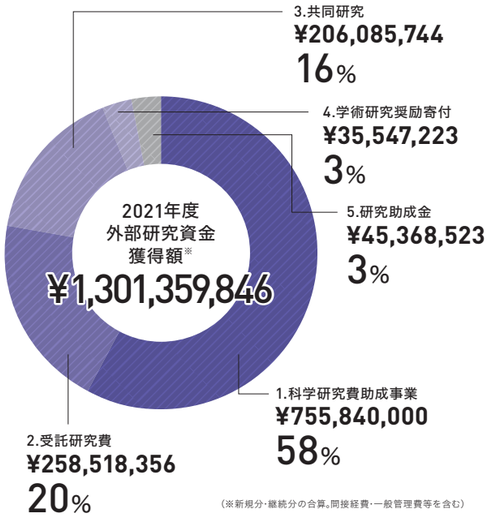
10学部12研究科を備える総合性を生かして幅広く外部研究資金を獲得

獲得額は総額約13億円を記録。総合大学ならではの多様性

文系領域から理系領域まで、科学研究費をはじめ、様々な公的資金に採択されました。また、企業等との受託研究・共同研究、学術研究奨励寄付の受け入れ、外部団体等の研究助成金の獲得等、幅広く外部研究資金を獲得しています。総合大学ならではの多様な知を生かし、研究による社会貢献を目指しています。

外部研究資金の内訳（2021年度）

研究費種別	件数	受入研究費
1. 科学研究費助成事業（代表分、分担金等を含む）	380件	755,840,000円
2. 受託研究費（公的資金、企業等からの委託研究を含む）	91件	258,518,356円
3.共同研究	144件	206,085,744円
4.学術研究奨励寄付	41件	35,547,223円
5.研究助成金	31件	45,368,523円



（※新規分・継続分の合算。間接経費・一般管理費等を含む）

文部科学省共同利用・共同研究拠点

「現象数理学研究拠点」— 数学・数理科学分野で“私立大学唯一”の共同利用・共同研究拠点 —

現代社会や自然界に現れる様々な現象の解明に「現象数理」の力で挑む

ー日常に潜むあらゆる現象を数理モデリングを通して紐解き、人類の幸福へ貢献するー

明治大学先端数理科学インスティテュート（MIMS）が運営する「現象数理学研究拠点」が、文部科学省の「共同利用・共同研究拠点」の一つに認定されています。数学・数理科学分野で拠点認定を受けているのは全国で5拠点のみ、“私立大学では唯一”の拠点です。文部科学省による2014ー2019年度の期末評価で最高の「S評価」を受けて2025年度まで認定期間が更新されています。現象数理学分野の発展と普及に寄与し、研究成果の社会還元に貢献して、国際的な研究拠点の形成を目指しています。

► MIMS「現象数理学研究拠点」 http://cmma.mims.meiji.ac.jp/

研究施設・研究所

画期的な発見は、充実の環境から生まれる。先端研究や産官学連携活動に取り組める14の施設・拠点

1 地域産学連携研究センター（生田キャンパス）
教育研究の発展および研究成果の社会還元に寄与することを目的として、産学連携活動および地域連携活動を展開しています。

2 研究成果活用促進センター（駿河台キャンパス）
明治大学の研究成果に基づく産官学連携の支援および研究成果を活用した起業支援を行っています。

3 黒曜石研究センター
長野県小県郡長和町に設立された日本唯一の黒曜石と人類史に関する研究施設で、黒曜石原産地研究とともに、旧石器時代から縄文時代を中心とした学際的研究を展開しています。

4 植物工場基盤技術研究センター
経済産業省先進的植物工場の全国8拠点の一つ（私立大学では唯一）です。「省エネルギーゼロエミッション型植物工場」の研究・開発とともに、植物工場ビジネスモデルの研究も推進し、農商工連携の学際的研究に取り組んでいます。

5 先端数理科学インスティテュート
数理科学関係の全国3番目の共同利用・共同研究拠点として、社会および自然に現れる様々な現象解明に向けた数理科学の発展・普及に取り組んでいます。

6 バイオリソース研究国際インスティテュート（P.35）
Animal Biotechnologyを基盤として、次世代の医療技術開発に貢献する生物資源の創出・維持・活用を目的として、研究開発を推進しています。（写真はクローン受精卵）

7 国際武器移転史研究インスティテュート
経済学・歴史学・政治学等様々な学問分野と協力し、武器移転（arms transfer）という事象を多角的な視点から分析して、兵器の拡散防止と軍縮を阻む近現代世界の本質的構造の解明に取り組んでいます。

8 生命機能マテリアル国際インスティテュート
「組織再生」「自家骨に匹敵する骨形成能」「生体防御機能」を備えた生命機能マテリアルの創製・開発、再生医療等への医学応用に取り組んでいます。

9 再生可能エネルギー研究インスティテュート
次世代エネルギーの技術課題に「創エネ」「省エネ」「畜エネ」の観点から一体的に取り組んでいます。

10 国際日本古代学研究クラスター
明治大学が培ってきた日本古代の歴史学・考古学・文学の3分野を総合化した「日本古代学」の構築と、国内外の研究者との国際的な学術的交流拠点の形成を目指しています。

11 知的財産研究クラスター（P.36）
知的財産法に関する様々な研究活動・事業活動を展開し、成果の継続的・発展的な発信と文理融合型の有為な人材育成を通じて、知識社会の発展への貢献を目指しています。

12 資源利用史研究クラスター
「資源利用史からみた日本先史文化の学際的研究」をテーマに、ヒトが自然物をどのように有用化（資源化）したのかという視点を設け、様々な研究分野の研究者が多視点的に分析する学際的研究を推進しています。

13 自律型ロボット研究クラスター（P.31）
人と環境を共有して活動する自律型ロボットシステムの研究開発を推進し、人手不足等の社会問題の解決に向けて、ロボットの高度な自律化を目指しています。

14 植物資源開発研究クラスター
「バイオ×データサイエンスによる持続可能な社会の確立のためのバイオ資源の最大活用」を研究課題として、実践的なバイオインフォマティクス研究・教育拠点の整備とともに、有用遺伝資源の探索・利用とゲノム改変技術の開発によるバイオ産業の創出等を目指しています。

ADVANCED

注目の研究

理系 SCIENCE

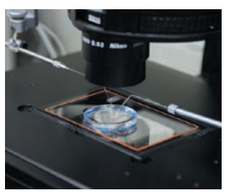
医療に大きな希望をもたらす、アニマル・バイオテクノロジーによる新たな臓器再生・移植技術の普及へ

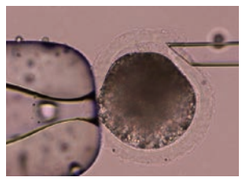
バイオリソース研究
国際インスティテュート（MUIIBR）所長
農学部教授 長嶋 比呂志

農学から切り拓く医療の未来
社会貢献意識が最先端研究の動力源に

バイオリソース研究国際インスティテュート（MUIIBR）では、農学を専門とする長嶋比呂志教授主導のもと、アニマル・バイオテクノロジーを基盤とした研究を行っています。アニマル・バイオテクノロジーとは、動物の生産にかかわる学問を食料生産や医療など、多様な分野に応用する技術の総称です。MUIIBRでは、ブタを用いた研究からヒトの病気のしくみや治療法を探ってきました。それらの研究を土台に最近では、消化管の構造や生理学的な特徴がヒトと非常に近いといわれるブタの臓器や組織を、臓器移植医療に利用する研究を行っています。

MUIIBRの研究テーマは大きくふたつ。ひとつは糖尿病の治療です。糖尿病の治療には膵島（ランゲルハンス島）というインスリンをつくる組織の移植が有効ですが、臓器提供者が少ないという問題がありました。そこで着目したのが、ブタの利用です。現在は、より安全に人間の体内へ移植できるよう、異種動物の臓器移植の際に起こる拒絶反応を抑えるための技術を模索中の段階。たとえば、臓器を免疫隔離膜で覆った状態で移植したり、遺伝子の操作によって拒絶反応が低い臓器を持つブタをつくり出すなど、様々な開発を行っています。





もうひとつの研究テーマは腎不全の治療です。腎不全が進むと必要になる人工透析は、患者の生活や国の医療経済にとって大きな負担となります。そのため、腎臓移植が必要になりますが、ほかの臓器と同様になかなか実現していないのが現状です。MUIIBRでは、ブタの胎仔の腎臓とヒトiPS細胞を利用する腎臓再生技術の開発を実施。この技術は、死因の3割が腎不全であるネコの治療にも応用できる可能性があります。

明治大学では大学の枠を越えた取り組みを推進し、大学発の企業を支援する体制があります。MUIIBRの研究成果の実用化を目標に、再生医療および異種移植事業を扱う会社を2017年に設立。異種動物の臓器移植を社会全体に普及させることを目指しています。今後は、臨床研究や治験を経て、実際の診療で扱う臨床応用へとステップアップしていく予定です。この研究のように、あらゆる可能性に着目することで、医学部でなくても医療の進歩に貢献することができます。何よりも大切なのは、病に苦しむ人を救済したいという思い。すべての研究が社会貢献へとつながっているのです。

文系 HUMANITIES

情報化社会における諸問題を法律の観点から捉え直し、知財の研究拠点を拡大する

知的財産法政策研究所
（知的財産研究クラスター）所長
法学部教授 金子 敏哉

法学の枠を越えた連携で
知的財産法の発展に寄与する

皆さんは知的財産法という法律を知っていますか。知的財産とは、発明や著作物、ブランドなどが有する、財産的な価値情報のこと。それらの情報保護に関する法律（著作権法、特許法など）の総称が、知的財産法です。その重要性は、IT化が世界的に進み、情報やデータが財産として社会的に認知されてから高まる一方。インターネットを通して情報やデータへ気軽にアクセスできるようになった現代社会において、老若男女問わず、誰にとっても深い関係のある法律だといえます。

創作コンテンツの違法アップロードなどが社会問題化した2009年、明治大学は、知的財産法政策研究所を設置しました。初代研究所長をつとめた中山信弘氏は日本における知的財産法の第一人者。二代目所長の高倉成男氏は国際交渉で活躍されるなど、知的財産分野で日本をリードする研究者や、様々な分野の専門家が在籍してきました。研究所の主な役割は、時に政府、国際機関や学外や外国の有識者と協力しながら、時代に適した知的財産法のあり方を議論したり、知的財産法に関する政策を提言することです。たとえば、「漫画村」などの海賊版の被害実態に端を発した法改正問題に対して、知的財産法・情報法の研究者等による共同声明（「ダウンロード違法化の対象範囲の見直しに関する緊急声明」および「ダウンロード違法化の対象範囲」の具体的制度設計のあり方について）を2019年2月19日に公表しました。さらに、実務家や弁護士、公務員や研究者など、知的財産法に興味のある方向けに、シンポジウムを開催して議論の場を設けるなどの働きかけも積極的に行っています。

従来、法学研究の多くは個人によるものでしたが、分野の専門化や細分化が進んだ結果、幅広い分野をカバーするためには共同研究が不可欠となりました。今後も同じ分野はもちろん、隣接・関連分野や他分野の専門家と共同研究を進める予定です。法の解釈についても、法学者だけでなく、多様なジャンルの人と法に関する議論ができる場を創出したいと考えています。明治大学を日本における知財の研究拠点にすべく、研究所をさらに発展させていきます。

WORLDWIDE

#5 世界の情報が集積する東京で刺激的に過ごす

［都心型キャンパス］

世界都市 東京 に集まる圧倒的な情報量

世界の都市
総合力ランキング
第3位※1

国内の外資系企業の
75.9%※2
が東京に集積

国際会議の
開催件数（2019年）
581件※3

世界主要48都市の「総合力」を、経済、研究・開発、文化・交流、環境などの6分野で評価し、順位付けるランキングで、東京は7年連続第3位にランクイン。あらゆる面において、世界トップクラスの都市です。

世界有数の証券取引所がある東京には、外資系の企業も多数進出しており、国内の外資系企業の4分の3以上が東京に立地しています。

多くの企業や教育・研究機関が集まる東京。国際的な会議や学会の開催も多く、今後も多くの人材や情報が行き来することが期待されています。

※1（一財）森記念財団「世界の都市総合力ランキング（GPCI）2022」　※2 東京都産業労働局「東京の産業と雇用就業（2022年版）」より　※3 日本政府観光局（JNTO）国際会議統計

抜群のアクセスとメリット

東京駅から電車5分！ 利便性の高いキャンパス

駿河台キャンパスの最寄り駅、御茶ノ水駅は、東京駅からの乗車時間がわずか5分。ほかのキャンパスも、都心からアクセス抜群です。

学生は全国47都道府県、世界46カ国・地域から

全国の学生と出会えるのも都心型大学ならでは。また海外の大学との提携により、世界中から多くの留学生を受け入れています。

4つの都心型キャンパス

駿河台キャンパス

明治大学のメインキャンパス。地上23階建てのリバティタワーがランドマークです。

>>> P.121

和泉キャンパス

新宿・渋谷まで約10分という利便性と、緑あふれる中庭の開放感が魅力のキャンパス。

>>> P.123

生田キャンパス

理工学部と農学部が大学院まで学ぶキャンパス。最先端の研究環境が整っています。

>>> P.125

中野キャンパス

周辺の教育施設や商業施設と共存する、「開かれた学び」を目指したキャンパスです。

>>> P.127

明治大学グローバル・ヴィレッジ（MGV）

留学生と日本人学生が生活や学びを共有する国際混住寮として、2019年にオープン。6つの個室が水回りやキッチンをシェアするユニット・タイプを採用し、1階の中央部にはレストランやリビング（写真）、学習室など、寮全体で利用する豊かな共用空間を設けている。（P.8、P.15、P.139参照）

日本にいながらグローバルな環境で、語学力向上に加え、将来の夢へ向けての一歩を踏み出せた。

人とコミュニケーションを取ることが好きだったため、寮生活を希望しました。1年次は国際交流寮「狛江インターナショナルハウス」、2年次からは国際混住寮「明治大学グローバル・ヴィレッジ（MGV）」で暮らしています。寮のメリットは、セキュリティや食事のサポートの手厚さと自由度の高さが両立できるところ。寮の管理者との連絡は専用アプリで行い、外泊届や食事のキャンセルのやりとりもスムーズ。連絡なしで遅くまで外出していると警備の方からメッセージが届くため、いざというときにも安心です。
また、国籍や学年の垣根なく交流を深められるところも魅力的。私が住む寮は、個室とは別に、生活空間1ユニットを学生6名が共同で使用する構成です。様々な学生と家族のような距離感で生活するため、コミュニケーション能力が身につきました。私のユニットは約半数が留学生。日常的に英語を使用するため、言語力も向上したと感じます。さらに、バックグラウンドの異なる学生との交流を通して視野の広がりも実感。私はずっと海外に興味があったのですが、日本のスタンダードなキャリアプランを思い描き、卒業後に就職する予定でした。考え方が変わったきっかけは、留学生から海外の就職事情や世界におけるキャリア観を聞いたこと。自分の夢を諦めず、卒業後すぐにワーキングホリデーを活用して海外で働こうと決めました。

法学部法律学科国際関係法コース3年　藤原 桜さん（埼玉県私立星野高等学校卒業）